

住民の声が届く 住みよいまちに



市議会議員

いぬい紳一郎



市議会議員

小田桐たかし



市議会議員

徳増きよ子



市議会議員

植田和子

障がい者施設 「みどり園」を視察



相模原市の障がい者施設でおこった殺傷事件をうけ、流山・柏・野田・我孫子の日本共産党市議団が、障がい者施設みどり園を視察。

施設長からは「夜間帯、一日一回の警察による巡回を」などの要望が寄せられました。

流山市議会を含め180をこえる地方議会で意見書が可決され、日本福祉用具供給協会など関係団体、利用者などの間で反対が強まっていました。まさに世

「介護保険は国家的詐欺」との元厚労省老健局長の声を紹介し、介護保険制度の更なる改悪を批判。議会と同様に、国に「軽度者への福祉用具貸与及び住宅改修の継続」を求める意見をあ

介護 福祉用具レンタルの保険外し許さず 安倍暴走政治を世論が止めた!!

厚労省が狙っていた要介護1・2の福祉用具レンタルや住宅改修、生活援助の大幅な後退ができなくなりました。

9月議会で日本共産党は、論と運動が、政治の暴走にブレーキをかけた画期的な成果です。

「子育て支援」と「高齢化対策」を同時にすすめなければならぬという流山市政のあり方が浮き彫りになりました。日本共産党は、市内各地で噴き出し続けている様々な市民の声をくみ上げ、市民の目線にたって奮闘しました。



開発 新川耕地ですすむ開発 今、農業振興が問われています

市内最大の水田地域である新川耕地で、いまクレーン車が乱立。東日本最大級の大規模物流センターが2カ所で建設中です。

その一方で、農家・農地をめぐっては、高齢化に加え、ミネラルウォーターよりも安い米価。米を作れば赤字が拡大という事態に加

げるべきと迫りました。「何らかの形で意見を上げるよう検討する」と副市長が答えました。



松ヶ丘で 納骨堂白紙撤回へ

流山市では、市民、行政、議会が共同して墓地の乱開発を規制し、住環境を守ってきました。にもかかわらず松ヶ丘商店街に納骨堂の建設計画が浮上。近隣住民による「納骨堂建設に反対する会」が結成され、運動が広がりました。党派を超えた運動で、建設計画は白紙撤回されました。

まちづくり 駅前市有地にマンション建設で 学校のマンモス校化に拍車

おおたかの森小中学校は、開校5年後、1500人規模の学校に2137人を詰め込むことに。それなのに、学区内の駅前市有地にマンションを誘致。児童生徒を増やし、窮屈な教育環境をさらに悪化させるのです。

市長は「義務教育には対応する」と言いますが、授業さえできればいいのでしょうか。

6〜15才が入り混じる校舎や校庭で、事故が懸念されます。特に、一人一人を大切にすることが教育環境を悪化させるまちづくりは問題です。

おおたかの森小中学校の児童生徒の推移(予測)

	H29		H30		H31	
	人数	クラス数	人数	クラス数	人数	クラス数
小学校	1,016	30	1,272	38	1,603	47
中学校	359	11	436	13	534	16
合計	1,375	41	1,708	51	2,137	63



江戸川台小に 特別支援学級拡充

植田 和子



デコボコ市道がきれいになりました(前ヶ崎624)

徳増きよ子



歩道までみ出した 雑草を処理しました

小田桐たかし



高校生の訴えで路上 喫煙禁止看板設置

いぬい紳一郎

身近な要求実現